

## 平成30年度 第2回テンミリオンハウス事業採択・評価委員会 議事録

- |       |  |
|-------|--|
| ■日    | 時：平成30年10月29日（月）18:15～19:30                    |
| ■場    | 所：市役所東棟8階802会議室                                |
| ■出席委員 | ：7名（宮武、鈴木、澁谷、平、川鍋、村田、森安）<br>欠席3名（安達、鶴川、熊田）※敬称略 |
| ■事務局  | ：高齢者支援課、武蔵野市民社会福祉協議会                           |

### 1 開会

委員長欠席のため、副委員長が議事進行。

### 2 新委員紹介及び挨拶

澁谷智子委員より、委員就任の挨拶。

### 3 配付資料確認

事務局より配付資料の説明。

### 4 平成30年度運営団体公募施設への応募団体ヒアリング

### 5 テンミリオンハウス「くるみの木」応募団体面接

応募団体 特定非営利活動法人ワーカーズどんぐり

(1)プレゼンテーション

(2)質疑応答

【委員】スタッフにヘルパー資格を取得している人が多いが、介護事業所等ではなく、テンミリオンハウス事業を選んでいる魅力や、やりがいはどこにあるか。

【応募団体】元々ワーカーズどんぐりでは、自立支援や在宅介護の事業を行っているため、ヘルパーの資格を持っている人が数名いるが、ヘルパーの仕事をしていなかったメンバーもくるみの木で仕事をしていく中で、その資格が役に立つと感じるようになり、新しいメンバーの資格取得にもつながった。資格の勉強をする前とした後では、考え方が変わるのを実感している。

【委員】くるみ学習室の対象の地域はどこか。また、どのくらいの規模で、どういった具体的なイメージを持っているか。

【応募団体】小学校1年生から中学校3年生までの西久保、緑町、吉祥寺本町、中町近くの方を想定している。基本的にはマンツーマン対応だが、場合によっては先生1名に対し、生徒2名で対応することもあり得る。

【委員】冬などの暗くなる時期のお迎え等の考慮はしているか。

【応募団体】土曜14時から16時までを設定しているので、暗くならないうちに帰

ってもらおう。

【委員】家族介護のひろばで何か見えてきたものはあるか。また、今回の計画に関係しているか。

【応募団体】介護を終えた方がこれから介護に向かう人に話をしたり、本当に辛い人が話したりできる場所はあるそうだが身近にない。相談内容は周りに漏らさないようにしているため、相談する本人も安心して話をしてくれる。

「そうですね」とスタッフにうなずいてもらうだけでも、心が軽くなったという事例もある。

【委員】新規利用者を増やしながら現利用者に継続して来てもらおうとするとかなり手狭になりそうだが、そこはどう考えているか。

【応募団体】5、6年前まで利用者が現在より多かった時期があったため、キャパシティとしては問題ないと考える。

【委員】要介護認定を受けている人はどれくらいいるか。

【応募団体】くるみの木は自己申告制を採っており、正確ではないが把握しているのは20名程度である。

テンミリオンハウスに通っている方が、介護保険の利用が必要と思われた場合は、地域の在宅介護・地域包括支援センターと連携し、次のステージに進むという事例もあった。

【委員】乳幼児親子の受入れは1日何組くらいなのか。

【応募団体】常に受入れはしているが、利用数は少ない。1か月に1組あるかないくらいである。

【委員】くるみ相談室の具体的な目標は何か。また、今までにどのような相談が来ているのか。

【応募団体】平成30年11月に初めて開催する。高齢者から介護保険の内容や流れ等の相談を受けるところから始めたいと考えている。

くるみ相談室やくるみ学習室のような、ワーカーズどんぐり独自の視点の活動の目標をこれから具体的に掲げていきたいと考えている。

【委員】くるみ相談室やくるみ学習室を始めようとしたきっかけは何か。

【応募団体】ワーカーズどんぐりが元々「どんぐり塾」として、事務所で始めたのがきっかけとなっている。勉強を見てほしい、場所がないという要望や市からの相談等があり、実施することとなった。

また、くるみ相談室については、ワーカーズどんぐりに所属している社会福祉士がずっとやりたいと申し出ていたこともある。

【委員】スタッフの年代構成や育成について工夫していることはあるか（欠席委員からの事前質問）。

【応募団体】スタッフの平均年齢は55歳程度である。

ワーカーズどんぐりは、くるみの木、保育室、在宅介護等で様々な仕事をしているため、そこで良い相乗効果が出ている。

【委員】体操の講師には謝礼を出しているが、その他の講師については謝礼を出していないのか。

【応募団体】体操はスタッフが行っているため、講師料として計上しており、その他は報償費として計上している。

(3)推薦団体討議決定

945点満点中799点、得点率84.5%。これまでの実績が高得点となって表れていると考える。よって、全会一致で、「特定非営利活動法人ワーカーズどんぐり」を市長へ推薦する運営団体に決定した。

(4)その他

テンミリオンハウス「そ~らの家」について、事務局より報告。

(5)第3回委員会の開催日程の調整について

6 閉会

以上